SKIP シティに行こう！

SKIPシティには子供から大人まで楽しめる施設がそろっています。北側には広大な空き地が残り、東京近郊では貴重な広い空間として、映画やテレビの大がかりな撮影に活用されています。
《アクセス》JR西川口駅東口5番乗り場、JR川口駅東口7～9番乗り場、または埼玉高速鉄道鳩ヶ谷駅西口3番乗り場からバス「川口市立高校」下車、徒歩5分

4 つの施設でわくわく体験

川口市立科学館

見て、ふれて、科学を考えることができます。プラネタリウムや天体観測ができる天文台があります。9:30～17:00(入館は16:30まで)、月曜(祝日の場合は翌平日)・館内整理日・年末年始休、一般210円、小中学生100円(プラネタリウムは別料金)

映像ミュージアム

映像の歴史や原理、映画制作の過程が楽しく学べます。実際に撮影スタジオでカメラを操ったり、アニメーションを作ったりできます。9:30～17:00(入館は16:30まで)月曜(祝日の場合は翌平日)・年末年始休、大人520円、小中学生260円

映像公開ライブラリー

埼玉県とNHKが一体的に運営。将来に残すべき価値のある映画、TV番組などの動画と、文化財写真、記録写真などの静止画のコンテンツを視聴できる施設です。9:30～17:30（入館は17:15まで）月曜(祝日の場合は翌平日)年末年始休、無料

彩の国くらしプラザ

全国でもめずらしい、消費生活をテーマにした参加体験型施設。売り買いに欠かせない「契約」をゲームで学ぶコーナーなど、身近な暮らしの問題をわかりやすく紹介しています。9:30～17:00、入館は16:30まで、月曜（祝日の場合は翌平日）・年末年始休、無料

川口市周辺アクセス図

主要駅から西川口駅までの所要時間
- 東京駅から約31分
- 池袋駅から約19分
- 大宮駅から約17分

川口市経済部産業振興課
〒332-8601 川口青木2-1-1
電話：048-259-9018 FAX：048-258-1161

2023.2

西川口・青木町平和公園コース

あふれるアドレナリンと知的好奇心 西川口に興味しんしん

駅ビルを併設し、便利な西川口駅東口からスタートです。街路樹やプランターが明るさを演出する商店街を進み、青木町平和公園へ。充実したスポーツ施設だけでなく、国立競技場の聖火台レプリカや英霊記念碑も見ものです。公園からしばらく北に進むと竪川の流れに 。住民の方々の手で植えられた梅並木が視覚と嗅覚に彩りを添えます。市内唯一の相撲部屋がある一角を通り、県道沿いを歩いてゴールの西川口駅へ。運がよければSKIPシティで撮影現揚が見られるかも。楽しさ尽きないコースです。

C-2 JR 西川口駅

開業は昭和29年(1954年)。戦後の経済成長と重なるように市域も急激に発展し、開業5年で乗降客人員年間524万人という格段の実績をもたらしました。平成19年(2007年)に駅ビルが開業し、イメージを一新しました。1日の乗車人員は約4万7千人。

B-2 青木町（あおきちょう）平和公園

市内のスポーツ活動の拠点となる施設で昭和33年(1958年)にオープンしました。過去に国体会場にもなったほか、プールと庭球場は全国レベルの大会でたびたび使われています。整備されたジョギングコースや緑の木立も多く、市民のいこいの場になっています。

プール

日本水泳連盟公認の50メートルプールと飛び込み台があります。

陸上競技場

400メートルのトラックがあり、内側でフィールド競技ができます。

野球場

5,000人を収容でき、高校野球の県大会も開かれます。

英霊記念碑

日清戦争～太平洋戦争の川口の戦争犠牲者2千有余柱が合祀されています。平和の祈りを象徴したデザインで総重量12トン。一体吹きの鋳物製記念碑としては日本最大級。

多数の鋳物製オブジェ

歩道わきに整然と並ぶ花壇。公園を囲むフェンス。国旗掲揚の支柱台。園内は鋳物がふんだんに使われ、自然の緑とともに安定感ある景観を生み出しています。

C-2 合格の鐘

駅前の一角に平成20年(2008年)に設置。商店会の繁栄や、地域の方々の幸せを願う気持ちが込められています。この商店会は花の街づくり運動で平成17年(2005年)に内閣総理大臣賞を受賞。歩道のフラワーポットは旧丸ビルの基礎に使われた松杭を再利用したものです。地元小学校と協力して花を植え替えるなど、環境美化を町おこしにつなげるユニークな取り組みが注目されています。

A-3 SKIP（スキップ）シティ

県が中心となり「さいたま新産業拠点」として造られた施設。現在は15ヘクタールもの広大な敷地の3分の1が整備されています。もとはNHK川口放送所があり、昭和12年(1937年)に建てられた電波塔は高さ312.8メートルと、当時の鉄塔では世界一の高さでした。

A-2 竪川（たてかわ）

上流の見沼代用水から 新芝川に注ぐ川。流路延長5キロ、流域面積7.4平方キロ。梅の並木道がみごとです。30年ほど前、町会の方々が植樹したもので、記念碑も建てられています。有志団体による定期的なクリーン活動や、水質浄化の取り組みが行われています。

A-1 湊部屋（みなとべや）

市内唯一の相撲部屋です。昭和57年(1982年)に元小結豊山の湊親方(現在の立田川親方)が部屋を構え、現在は元幕内湊富士が年寄「湊」を襲名、部屋を継いでいます。朝稽古は日曜と番付発表後～本場所中をのぞく7:00～10:00頃に行われ、一般の方も見学できます。(要問い合わせ)

聖火台にこめた鋳物師の魂

青木町平和公園には、昭和39年(1964年)の東京オリンピックで使われた旧国立競技場聖火台のレプリカがあります。聖火台は高さおよび直径が2.1メートル、重さが2.6トン。もともとは昭和33年(1958年)に開催された第3回アジア競技大会のために作られたもので、川口鋳物の代表作といわれています。手がけたのは川口屈指の鋳物師、鈴木萬之助・文吾親子。超大型の美術鋳物という難しい仕事を採算度外視で製作を引き受け、2か月間、寝食を忘れて作業に打ち込みました。

命をかけた湯入れ

鋳型が完成し、いよいよ湯入れ(溶けた鉄を型に注ぎ入れること)の段に。ところが、流し込んだ瞬間、湯が枠から噴き出してしまいました。萬之助さんは「失敗した」と言ったまま家に帰って寝込んでしまい、帰らぬ人に。

父の死に目に会えなかった文吾さんは弔い合戦とばかりに、連日夜中まで鋳型づくりに取り組みました。それから2週間、2度目の湯入れはみごと成功。文吾さんが完成させた聖火台には父の名の「鈴萬」が刻まれています。

その後、文吾さんは毎年「墓参り」と称して 旧国立競技場を訪れ、聖火台をみがき続けました。文吾さんは平成20年(2008年)に86歳で亡くなりましたが、今も聖火台みがきは、遺族や関係者の手で続けられています。

市民が守る鋳物師の誇り

青木町平和公園のレプリカは、湯入れに失敗し、幻となった最初の作品を文吾さんが補修し、昭和33年(1958年)に設置されたものです。しかし案内板も柵もなく、ゴミまで投げ込まれるひどい状態でした。これを憂えた市民有志が改修資金の募金活動を始めました。

構想から1年後の平成16年(2004年)には目標額に達し、改修が行われました。緑色のレプリカは黒に塗り直され、父子の写真に由来を記した案内板も新たに設置されました。

新装されたレプリカは、公園を訪れる人たちに、川口鋳物師の技術と心意気を伝えています。

意外にさわやか！
体を動かす西川口

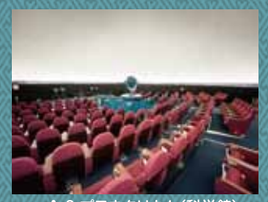
西川口・青木町平和公園コース

No.4

川口市マスコット「きゅぽらん」

川口市内観光ルートマップ

A-3 SKIPシティ



A-3 プラネタリウム（科学館）

B-2 青木町平和公園 飛び込み台

A-2 竪川と緑川

B-2 青木町平和公園